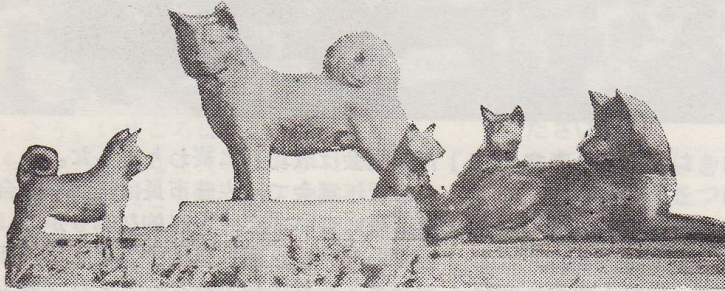


広報 おおだて

(3月号)

編集と発行 大館市役所



大館市の人口 62,296
(40年1月1日現在) 世帯数 13,745

3月の解説

3月のことを和名では「やよい」(弥生)といいます。もとより旧暦ですから太陽暦では4月ということになります。「やよい」というのは、物がますます育つという意味で、あらゆるものが活躍しはじめる季節にふさわしい呼び名といえるでしょう。

英語では、この3月を march といいます。軍艦マーチなどでおなじみのマーチで、やはりはつらつと動く月ということでしょう。このマーチの語源は、ローマの軍神マルス(mars)に由来するものだそうです。

3月はたのしい行事が多い月でもあります。3日のひな祭りをはじめ、全国各地での春祭りなど。

また、全国緑化運動も南から始まってまいります。

3月21日の春分は、あいにく日曜日と重なって私たちをがっかりさせますが、この日を境に日照時間がのびて天地がみるみるうちに緑にかわって好季節を迎えます。

大館市保健衛生協議会が発足

大館市保健衛生協議会結成大会



去る2月26日、市の連合婦人会が主体となつて、大館市保健衛生協議会を結成するための大会を開きました。

この協議会は、みんなで力をあわせて「カ」や「ハエ」および結核のぼく滅に協力しあつて「住みよい、健康な町をつくりましょう」という目的でつくられたものです。

結成大会には、各地区代表のご婦人がたはじめ、県庁および、市役所の関係者が約30人ほど集つて、会則や予算案について討議しました。

この結果、これらの案は原案通りきまり、事務局を市役所の厚生課において来る4月1日から市全体の環境衛生の向上をめざし活動することになりました。

市でも、今年健康都市建設と環境衛生の充実に力点をおこうとしている矢先、このような協力機関が発足したことは、市の厚生活動にとって、春のおとずれをおもわせるような明かるいできごととして、心からこの会の結成をよろこんでいます。

ぼくをお忘れなく

期日が過ぎると特典がなくなりますよ!



固定資産

課税台帖をお見せしています

固定資産課税台帖には、皆さんがお持ちになつている土地、家屋、山林、償却資産などの面積や評価額が記載されており、市では、これにもとづいて固定資産税を課税するものです。

この台帖に登録されている事項に間違いがあつたりすると、税金も間違つて賦課されることとなりますので、あなた方自身の目でもう一度確かめて下さい。もし、台帖をご覧になつてみて、台帖に登録されている事項に不服があると

きは、3月31日まで市の固定資産評価審査委員会に異議の申し立てができます。

縦覧期間 3月1日から3月20日

縦覧時間 午前9時から午後4時半まで

縦覧場所 (1) 旧市内、釈迦内、長木下川沿、上川沿の方は市役所税務課で

(2) 十二所、真中、二井田地区の方はそれぞれの出張所で

火災の連絡は火災専用電話で

市税の滞納は

火事のときは電話で「火事」

今月中に納めましょう

と呼ばば消防署につながります。

青年会議開かる



市政を学び、日常生活の中にあるいろいろな問題点を青年の立場からとりあげ、これを市政に反映させようとする第1回の大館市連合青年会・青年議会が去る2月27日市役所の議事堂で開かれました。

この青年議会には、各地区代表の女性議員3人を含めた36人ののはつらつとした青年議員たちが出席し、市長はじめ各課長に当面する諸問題について、本物の議

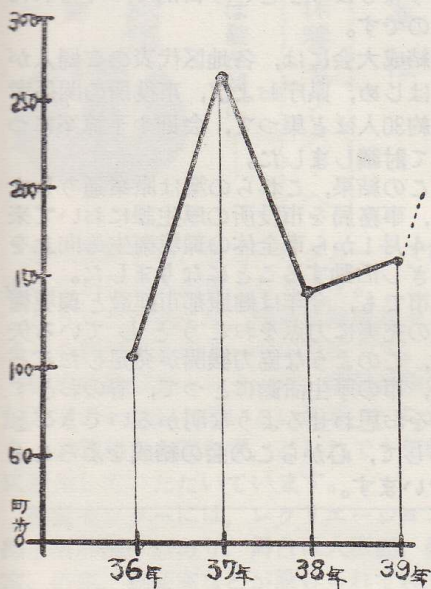
員に負けずともおとらぬ質問をあげせておりました。

青年議会は、市の最高機関である議会形式そのままのルールで運営され、本会議はもとより、総財、教民、建水、産経の各委員会にわかれて市政の具体的な問題について活発な質疑を展開しました。市当局の質問に対する答弁も本場の市会以上に真げんさが加わり、その態度が未来の青年議員たちに好感を持たれ、初

の青年議会は成功裡に終わりました。

この青年議会で、佐藤市長は当面する合併問題については、実際の働きかけはしていないが、若し合併するとすれば無理せず、自然の形で行なう、また、青少年センターは今年中につくりたい、雪沢温泉は外資を導入する観光地ではなく、市民のいこいの場としてのヘルスセンターとして今年から工事にとりかかりたい、などを明らかにしました。

年度別農地等移動調



市立南中学校にきまる

<二井田真中の統合中学校名>

去る2月22日、教育委員会が開かれほぼその建設がきまりかけている二井田、真中統合中学校の校名について協議しました。これは先に、両中学校生から校名を募った際に生徒からだされた「米代中学」「南中学」などの校名についてどれがだれにでも親まれる校名であるかを協議したものです。

結局、大館市の南端にある唯一の中学校としての「南中学校」が最も適当であり、生徒のほとんどがこの校名を希望しておりますので、教育委員会としても、生徒の意見を尊重してこの校名に決定したものです。

統合中学校の建設が正式にきまると、この校名は議会の議決を経て4月1日から用いられることになっており、それまでは両校とも南中学校の分校と呼ばれることになります。

ふえる農地の転用

農地の転用、所有権の移転などの事務を取扱っている市の農業委員会では、この程昭和36年から39年までの農地などの推移をまとめました。

これによると、農地の所有権の移転、農地から宅地、工場敷地への転用などの全体的な移動は、昭和36年に102町2反歩きあつたものが、39年では113町5反歩もの移動があつて、年々移動の著しさを増しているのが現状です。

この転用がふえている原因としては、銅鉱床の開発による宅地造成によつてもかなりの面積をしめておりますが、それに増して、将来の大館市の発展を見とおした会社、官庁の退職者、分家による離農者などが住み良い大館市で永住するために土地を買い求めるために集中して来たことや、中小企業者が営業するための諸経費の節約などの見地から、周辺の町

村から本社を大館市に移すために農地を買収していることなどが大きな原因であると、市の農業委員会ではいつております。

それでは39年中における農地法第5条(転用を伴う所有権の移動)による主な転用の用途を調べてみますと、

宅地になつたのは10町1反歩

鉱業用地になつたのは1町4反歩

工場敷地になつたのは1町2反歩

駐車場敷地になつたのは1町1反歩

貯石場敷地になつたのは6反歩

で、36年からくらべると大巾に転用がふえており、今後も、市の発展と相まつてますます増加する傾向にあります。市としても山復農業の推進を本格化し、へる農地の対策に本腰を入れることにしています。

住民登録は

14日以内に

3月から4月にかけては進学、就職、転勤などによつて住所を変更することが多い時期です。

住所が変わつても14日以内に現住する住所地の市町村役場に住民登録をしませんと、選挙、予防接種、印鑑登録、住宅の申し込み、学校入学などの権利を受けることができませんので、必ず届出をしなければなりません。

最近、他市町村から大館市への転入が著しくなつてきておりますが、まだ住民登録をしていない人も大分おるようですので、転入、または転出などの住所変更がありましたら市民課の窓口で手続きをしてください。住民登録は、市の行政事務の重要な基礎資料であるとともに、登録された市民ひとりひとりが安心して生活できるための権利を取得するものでもあります。

なお、届出に必要な書類などは次のとおりですから、市役所に来る前までおぼえておいてください。

届出の事由	必要な書類など
転入	他の市町村から大館市に来たとき ○前住所からの転出証明 ○印鑑 ○米の通帖 ○転入届
転居	市内で住居が変わつたとき ○国保の保険証 ○印鑑 ○米の通帖 ○転入届
転出	大館市から他の市町村へ行くとき ○国保の保険証 ○米の通帖 ○転出先の住所明示 ○転出届
出生	○母子手帖 ○出生届 ○国保の保険証 ○米の通帖 ○印鑑
結婚	○婚嫁届 ○印鑑(2人のもの) ○非本籍の場合は戸籍抄本 ○米の通帖 ○国保の保険証
死亡	○国保の保険証 ○死亡届 ○米の通帖 ○印鑑

∴ 届出用紙は市民課にあります

国税

三井物産

三井物産



もうすぐ1年生

— 入学前のしつけ —

あとひと月で小学校に入る子どもさんは、きぼうに胸をふくらませておることでしょう。いまごろは、おとうさんやおかあさんから、なまえのかきかたや、先生からよばれたときに、げんきにへんじができるようにと、まいにち元気に「ハイッ」と、へんじのれんしゅうをしながらのしい1年生を夢みていることでしょう。

そこで、入学前によい子のみなさんにおぼえておいてほしいことをかいてみましたのでよくよんで元気で、入学式においでください。

- 【1】 じぶんのなまえをかけるようにしてください。
- 【2】 両親のなまえや、じぶんのじゅうしよ、なまえをいえるようにしてください。
- 【3】 よばれたら「ハイッ」と、げんき

にへんじをしてください。

- 【4】 ひとりで服を着れるようにしてください。
- 【5】 食事のまえにはかならず手をあらうしゆうかんをつけてください。
- 【6】 じぶんで用便ができるようにしてください。
- 【7】 あるときは、右がわをあるくこと、また、こうつうしんごうや学校へ行く道もおぼえておいてください。
- 【8】 ともだちとなかよくあそんでください。
- 【9】 あそんだあとのオモチャなどはじぶんでかたづけするようにしてください。

☑ 親の心がまえ

親の日常生活の習慣は、すぐお子さん

に反映します。入学を前に、勉強を無理に強いることなく、自然とおぼえられるように日頃気をつかうとともに、学校には好んで通学できるよう、家族ぐるみの指導を望みます。

親が子どもを思う気持はよくわかりませんが、干渉がすぎたり、誤つたりすると子どもの心の成長にならないばかりでなく、集団生活にうちとけて行けなくなつたりしますので不必要な努力やむだをしないようにしてください。

また、子どもさんの学用品や服装については、親の虚栄心から、高価や華美の物を買うことはやめて、勉学に便利なものとか、学校で推奨されたものを買うようにしてください。こうすることが将来のあなたのお子さんのための本当の親心ではないでしょうか。



火災

シーズンに備えて

これから春にかけてまた火災シーズンがやってきます。

この時期は空気が乾燥し、燃えやすい状態になってきます。県内でも、4、5月頃は最も火災が多く、しかも大火などはこの季節に多く発生しています。

このように春に多い火災の原因をみると

- ◎煙突の過熱や飛火によるもの
- ◎子どもの火遊びによるもの

◎ストーブのふしまつによるもの

◎ガスや石油ストーブなどで燃料を出しすぎるもの

などが多くなっています。

なお、火災シーズンに備えてつぎのようなことに注意しましょう。

- ☑ 出入口、非常口などの冬囲いは早くとりのぞくこと。
- ☑ 非常時にはただちに避難ができるようにしておくこと。
- ☑ 多人数の勤務している工場、興行場などでは、必ず非常通路をつくること
- ☑ 屋根に雪がなくなつてからは、煙突に注意し、むりなたきかたをしないこと。



大館市の風物詩「アメッコ市」 大館市に古くから伝わる「アメッコ市」が去る2月13日(旧正月12月)行われました。この「アメッコ市」は山神が風邪よけの薬に里へアメを求めにおりて来るので、そのよく日は山神の足あとをかくすために猛吹雪がやって来るという伝説にちなんでこの日は「アメを食べないとウジになる」といわれております。(写真今年のアメッコ市風景)

幼児には日光浴を

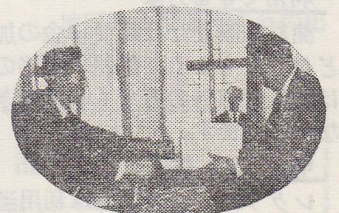
春といつてもまだ日光も弱く、つい部屋にとじこもりがちです。おとなの健康管理のうえからはもちろん、幼児にとつても日光浴は大切なことです。

とくに幼児にとつておそろしいのはクル病にかかることで、これをふせぐには日光浴がいちばんです。

日ごとに春めいてくるこれからの季節には、できるだけ戸外に連出して日光にあてるようにしましょう。

39年度

農産物多収穫 競作会の表彰式



この表彰式が去る2月5日公民館で行われました。水稻の部では別所の島山寿さんが(写真)反当り633,3kgを収穫して第1位 白さいの部では餌釣の兜森与三丞さん、ねぎの部では立花の鎌田茂治さんら59名の方々が晴れの表彰を受けました。

お知らせ

「入学おめでとう大会」 ご案内

とき 3月13日
じかん 午後1時から
ばしよ 市民体育館

催しもの

- 1, プラスバンド演奏
- 2, 腹話術
- 3, 舞踊
- 4, 交通教室



春の行楽は
簡易保険保養センターへ
——東北では碓ヶ関に——

春は家族づれ、あるいはグループで行楽に出かける人が多くなります。

こうした行楽には、簡易保険保養センターを利用するのも一つの方法です。

簡易保険保養センターは、簡易保険の加入者のかたがたのいこの場ですから、老若男女を問わず、どなたでも気軽に利用していただいています。

保養センターには、レクリエーション部と宿泊部とがあり、舞台は大広間、個室、浴室、娯楽室などが設けられています。

◎レクリエーションの入場料

大人 100円
子供 50円

◎宿泊部室料

大人 1人1泊 350円
子供 1人1泊 250円

食事代

二食付 350円
入場税 20円
暖房料 70円 (冬期間のみ)

利用できる方は

簡易保険または郵便年金の加入者ならどなたでもよく、部屋に余裕のある場合は加入者以外の方でも利用できることになっています。

申込は

レクリエーション部は利用当日でもよいが、宿泊部は1週間前までに郵便局または直接センターへ予約申し込みをしていただくことになっています。

(大館郵便局提供)

百日セキ、ジフテリアの予防接種

該当者

昭和38年3月31日から昭和38年8月3日までの出生者で昨年3月以前に

初回免疫3回を完了している赤ちゃんが対象になります。

日程と場所

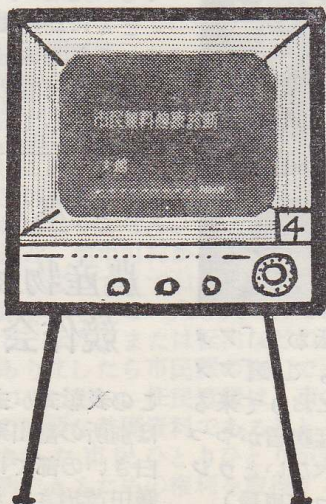
ところ	とき	時間	実施地区
長木公民館	3月17日	午後1時～2時	長木全地区
釈迦内公民館	3月17日	午後2時10分～2時40分	板子石、上袋、沼館、松木を除く釈迦内地区
上川沿公民館	3月18日	午後1時30分～2時	根下戸舟場を除く上川沿地区
二井田公民館	3月18日	午後2時10分～2時40分	二井田全地区
下川沿公民館	3月19日	午後1時30分～2時	片山を除く下川沿全地区
真中公民館	3月19日	午後2時10分～2時40分	真中全地区
十二所出張所	3月22日	午後1時30分～2時30分	十二所全地区
石田病院	3月23日	午後1時30分～2時30分	御成町全町内と板子石、上袋、沼館、松木
市民体育館	3月24日	午後1時30分～2時30分	桂城、金坂、赤館、柄沢、東台、部垂町、桜町、豊町、相染町、向町、一心院、谷地町、旭ヶ丘、長倉、愛宕、弁天町、大正町、御坂、古川、大下町、鉄砲場、通町、独古町、川原町、栄町、田町、末広町
市民体育館	3月25日	午後1時30分～2時30分	大町、新町、寺町、常盤木町、昭和、神明、南神明、中神明、一中通、東町、新地、南町、田代町、新町、中町、馬喰町、城西、住吉、アパート1、2、3、片山、舟場、根下戸

…… 目と耳の広報 ……

NHK テレビ

「大館の時間」を ご利用ください。

— 毎週火曜日
午後1時15分から5分間 —



市民の声

———→ 原稿を募集します

市役所で毎月発行している広報「おおだて」は、昭和36年8月20日に第1号を創刊しい以来、来月の4月号をもつて100号を迎えることとなります。

そこで係では、この100号突破を記念して、広く市民の声を募り、これを市政に少しでも反映しようと「市民の声」を広報紙に掲載する企画をたてました。どうか、皆さんが常に感じている市政に対するご意見や、ご要望、ならびに市に対する質問事項などがございましたら下記の要項でご寄稿くださるようお願いいたします。

要項

- 字数 200字以内
- 切 3月15日
- 送り先 市役所総務課 庶務係
- その他 住所、氏名、年齢、職業は必ず書いてください。